

人が集まる田舎「東吉野村」のフリーペーパー

Letters

vol.5

Sep. 2020

TAKE FREE



移住と仕事の特集
#造形作家

- 02 人が集まる田舎「東吉野村」
- 03 移住と仕事の特集
#造形作家
- 15 新しい暮らしを見つけに行こう
移住に向けての3ステップ
- 17 空き家改修補助のご案内



人が集まる田舎 「東吉野村」

奈良県の南部、三重県との県境にある東吉野村。きれいな川が流れるこの地域に魅了され、数年前から現在まで、様々な人が移住されています。大阪や京都などの関西はもちろん、最近では東京から移住される人も珍しくありません。なぜか人が集まる不思議な村。このフリーペーパー「Letters」は、そんな東吉野村に移住し、暮らす人たちを紹介する冊子です。



移住と仕事の特集
#造形作家



三瓶 祐治

東京の会社で印刷物やWebのデザイナーとして働いていた三瓶祐治さん。彼は、仕事の傍ら造形作家としての活動を始めました。また、田舎暮らしを求めて、2015年の奈良県主催「移住モニターツアー」に参加。翌年には、奥様と一緒に東吉野へ移住されました。移住後は、作家活動を本格的に開始し、今では国内だけでなく、海外でも個展を開催。そんな三瓶さんの作家活動に対する思いと、作品をご紹介します。

会社勤めと並行しながら 造形作家の活動を始める

「もともと何かを作ることが好きだったんです。その流れで、印刷物やWebをデザインする仕事を選びました。昔は、オブジェやフィギュアなどモノを収集することが好きだったのですが、いろいろ集めているうちに、収集するという行為に興味がなくなり、今まで以上に自分で何かを創造するという方向に意識が変わっていきました。それからは、デザインの仕事をしつつ、彫刻教室へ通ったりしながら造形作家の活動を始めました。東京から東吉野へ移住したのは、

ちょうどその頃です。田舎暮らしは、若い頃から憧れのようなものがありました。実際に地方移住を決めたキッカケは、原発事故だったり、様々なタイミングもありましたが、やりたいことがあるのであれば、お金や時間、年齢などに関係なく、行動した方が良く考えるようになったからです。東吉野への移住は、奈良県主催の移住モニターツアーで出会った知人が既に移住していたり、村役場が積極的に移住をサポートしてくれる体制が整っていたので、不安はありま

せんでした。ですが、移住にしる、造形作家としての活動にしる、多少の不安があったとしても、それができない理由として考えるよりも、自分が本当にしたいことをした方が良いと思っています」

東京から東吉野へ 移住を決めた理由



自宅の作業場で、資料を見ながら
陶土をシロクマの形に作り込んでいく様子。



近所に流れる四郷川の風景。この場所まで自宅から徒歩5分。

作品が完成するまで

「作品によりますが、テラコッタの作品だと、形にするのに2〜3日ほどかかります。まず、陶土でざっくりと形を作っていきます。初めは柔らかいので、その状態で少し乾燥させます。乾燥させると土が乾いて硬くなってくるので、さらに細かい部分を作り込んでいきます。時間をおくことで作品自体を客観的に見ることができるというメリットもあります。形が整ったら、2週間ほど自然乾燥させ、800度の窯で8時間ほど焼いて、着色を終えれば完成です」



たびじ(テラコッタ・彩色・足袋づくりの型の台座)
撮影場所 古今雑貨と珈琲 空木-utsugi-(東吉野村 木津川)

三瓶さんの代表作といえば、動物をモチーフにした作品。三匹並んで歩くシロクマや、遠くを見つめるオオカミ、水面からひょっと顔をのぞかせたアザラシ、大海原を堂々と泳ぐクジラ。どの作品にも、じっと見入ってしまう、不思議な雰囲気があります。ひょっとすると、それぞれに物語があり、その物語を動物たちが語りかけているのかもしれない。



Wolf(楠・彩色)



Seal(流木・木彫・ガラス)

作品は、ふと思いつくこともあれば、流木や古道具などからインスピレーションを受けたりしながら制作されているそうです。この白鯨も、流木の形からインスピレーションを受けて作られた作品。

三瓶さんが作品に用いる素材は、陶土を素焼きしたテラコッタをはじめ、流木、ドライフラワー、鉄クズなど多種多様。他にも、古道具の錆びた金口、足袋づくりの型、海岸で拾った野球ボールなど、ユニークな物を組み合わせて作品にすることもあります。



白鯨(流木・彩色)

作品に込めるもの

「作品づくりは、作品の密度(質)をどれだけ濃くしていくことができるのかが大切だと思っています。日本には数多くの仏像がありますが、中でも特に心に響く仏像には、やはり密度の濃さのようなものを感じます(仏像に限りませんが)。自分の作品にも、そんな密度のようなものを持たせることができれば良いなと漠然と思っています」



仏陀頭像(テラコッタ・彩色)



若い頃から仏像が好きだったという三瓶さん。移住する前から、よく奈良のお寺を訪れていたそうです。三瓶さんの仏像の作品は、とてもシンプルな容姿をしています。そのシンプルで飾らない仏像は、仏様を身近な存在に感じられるかもしれません。見ているとなんだか、ほっとする気分にならせてくれます。

弥勒半跏思惟像(テラコッタ・彩色)



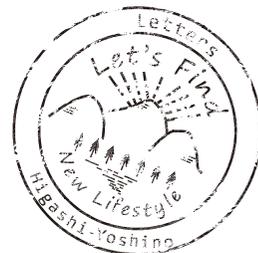
蓮の花托や植物に動物の顔を付けた「森の住人」という空想上の生き物。写真は、顔が山羊のガイコツになった作品。この他に、顔の部分がゾウやキリン、トナカイ、フラミンゴ等、様々な動物をモチーフにした作品があります。

森の住人・山羊の骨(蓮の花托・彩色)



造形作家 三瓶祐治 HP
<https://tabikumasya.com/>
instagram @y.sampei

新しい暮らしを 見つけに行こう

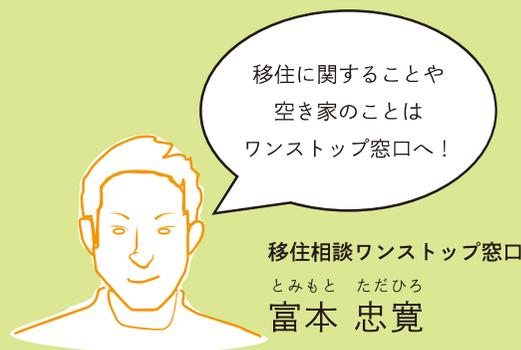


移住に向けての3ステップ

1. 相談しよう

知らない土地への移住は、わからないことばかり。1人で悩まず、最初は移住の相談窓口へお問合せください！東吉野では、移住に関する全般的なことや、空き家物件について、村役場の移住相談ワンストップ窓口がお応えします。また、自身も移住者である移住アドバイザーもいますので、実際の移住体験や暮らしについての話を聞いたり、東吉野を案内してくれます。

お問い合わせ：東吉野村総務企画課
Tel: 0746-42-0441
Mail: soumukikaku@vill.higashiyoshino.lg.jp



移住に関することや
空き家のことは
ワンストップ窓口へ！

移住相談ワンストップ窓口
とみもと ただひろ
富本 忠寛



暮らしや子育てなど
移住者の視点で
お話します

移住アドバイザー
おおたに さいき
大谷 彩貴

2. 行ってみよう

移住相談で情報収集ができれば、現地を訪れてみましょう！実際に訪れることで、土地の雰囲気を感じ、思い描いたイメージと比べてみるができます。東吉野にはキャンプ場があり、夏は沢山の人がBBQや川遊びを楽しむ人気スポットになります。他にも、温泉や宿、登山スポットや滝の名所、レストランなどの飲食店もあり、観光で訪れるにはおすすめの地域です。

東吉野観光協会HP



3. 滞在してみよう

現地を訪れて、気に入ったのなら、次は数日滞在してみましょう。東吉野には村営ゲストハウスがあり、最長1週間の滞在ができます。車で探索したり、誰かと出会ったり、地元の野菜を買ってご飯を作ったり、東吉野の暮らしを体験してみましょう！1度だけではなく異なる季節で滞在してみましょう。事前予約で、移住アドバイザーによる現地コーディネートもできます。



宿泊体験施設
ゲストハウス小川



空き家改修補助のご案内



東吉野村では、多くの若い人に移住・定住していただきたいという思いがあります。移住される方が、村内の空き家バンク物件に住まわれる場合、居室、トイレ、風呂、台所等の生活するために必要な改修等に要する費用を補助します。改修等の費用が10万円以上要する場合、補助対象経費の2分の1(上限100万円)を補助します。改修に関わる業者は、地元業者となります。

補助の対象になる方

- 定住を目的とし、村外から村内に東吉野村空き家バンクに登録された住居へ居住される方
- 20歳から40歳までの方。既婚者の場合、どちらか一方が、その年齢を満たしていること
- 東吉野村に住民票を移していただける方
- 本村に住民登録を有してから10年以上定住する意思があり居住地の自治会に加入される方

お問い合わせ：東吉野村総務企画課

Tel: 0746-42-0441 Mail: soumukikaku@vill.higashiyoshino.lg.jp

人が集まる田舎 「東吉野村」

フリーペーパー Letters vol.5

令和2年9月25日 発行

発行：東吉野村
〒633-2492
奈良県吉野郡東吉野村大字小川99番地
TEL.0746-42-0441

編集
大谷彩貴
【東吉野村移住アドバイザー】

撮影
福井孝尚
【東吉野村地域おこし協力隊】

東吉野村地域おこし協力隊 SNS
FB @kyouryokutai.hy
Instagram @higashi_yoshino

東吉野村オフィシャル移住サイト

「空き家情報」や「暮らしの助成金」
「移住者インタビュー」など掲載中！



古今雑貨と珈琲 空木-utsugi-(東吉野村 木津川)



「遊ぶように働く」 山村のワーキングスペース

大阪から車で約1時間半の山村にできたワーキングスペース。
そこに集まるのは、新しい働き方や暮らし方を求める
少し変わった若者たちだ。

外から彼らを眺めてるだけだと、
何をやっているのかわからない。
パソコンにむかったり、コーヒーを飲みながら談笑したり
働いているのか、遊んでいるのか。

都会のオフィスを離れて
彼らと一緒に、そんな働き方をしてみませんか？

オフィスキャンプ 東吉野

OFFICE CAMP
HIGASHIYOSHINO

<http://officecamp.jp/>